

○南関東ブロック会議（10月19日（金） 山梨県・ベルクラシック甲府）

参加者は約170名。はじめに山形正喜山梨県副会長の開会の言葉に続き、伊藤祐寛山梨県会長が開催県を代表してあいさつを述べ、続いて、岡本比呂志全専各連南関東ブロック長、小林光俊全専各連会長があいさつを述べた。横内正明山梨県知事、文部科学省専修学校教育振興室の佐藤昌将由専門官の来賓祝辞の後、来賓・行政関係者・全専各連・各協会会長等の紹介が行われ、本会議に入った。

はじめに「文部科学省報告」として、文部科学省専修学校教育振興室の佐藤昌将由専門官が「専修学校・各種学校をめぐる最近の動向について」と題して講演。「若者雇用戦略」および「日本再生戦略」に盛り込まれた専修学校と職業教育に関する施策、また、第2期教育振興基本計画についての審議報告を行った。専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議の進捗状況や平成25年度専修学校関係概算要求についても説明。最後に「職業実践的な教育に特化した新たな枠組み」の推進に関し、「専門学校の質的向上及び高等教育における職業教育の充実に係る方策やその進め方について（試案）」を解説した。全専各連事務局からは、全専各連全体の活動状況説明、専修学校教育振興会事業への協力要請が行われた。

最後に、各都県から行政報告が行われ、全体会を終えた。

休憩後、参加者が2分科会に分かれ、第1分科会（シンポジウム）では、「専修学校・各種学校のかかえる課題と今後のあり方」と題して、輿石和雄氏を講師に基調講演を行った。講演後、岡本比呂志南関東ブロック長、秋葉英一千葉県会長、城田恵次郎埼玉県副会長、千葉茂東京都副会長、清水裕神奈川県副会長、伊藤祐寛山梨県会長をパネリストに迎え、文部科学省専修学校教育振興室の佐藤昌将由専門官と輿石和雄氏を有識者として、壇上にお迎えし、関口正雄東京都副会長をコーディネーターにパネルディスカッションが開かれ、学校活性化への道について意見交換が行われた。

また、第2分科会（高等課程分科会）では、「各都県の予算要望の現状と今後～現状報告から、今後の要望のあり方を探る～」をテーマに、清水信一全国高等専修学校協会会長の司会によるパネルディスカッションが開かれ、谷誠東放学園高等専修学校副本部長、長嶺将正横浜デザイン学院事務局長、大塚史朗専門学校野田鎌田学園校長、小林東一郎日本産業専門学校校長をパネリストに、各県の状況報告、補助金獲得に向けての今後の対応について活発な意見交換が行われた。

小憩後、分科会が合流し、第1・第2分科会報告が行われ、最後に秋葉千葉県会長からの次期開催県あいさつに続き、杉田季久雄山梨県運営委員が閉会の言葉を述べて会議を閉会。その後、別室にて交流会が行われ、すべての日程を終了した。